



競争力強化を図り、 事業体制の再構築を進めています。

代表取締役会長 巖 浩

1962年生まれ、中国江蘇省出身。1979年、天津大学工学部入学。1981年、中国国費留学生として山梨大学、東京大学(大学院博士課程)で医学統計を専攻し、臨床試験に関わる研究・実務に従事。1991年5月にイービーエス株式会社の前身であるエプス東京を設立。創立10周年にあたる2001年にJASDAQ市場に株式を上場、2006年に東証1部に上場。

Q1 第2四半期業績の総括と、 通期の見通しについて教えてください。

国内事業では、主力のCRO事業が好調であった一方、SMO・CSO事業が振るいませんでした。海外事業については、事業拡大と体制強化を目指し、Global Research事業で米国にCRO事業会社を設立。中国事業では新たに医療機器販売を開始し、これらが奏功して飛躍的な増収を達成しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高18,237百万円(前期比5.2%増)、営業利益1,741百万円(同36.7%減)、経常利益1,638百万円(同37.7%減)、四半期純利益671百万円(同43.2%減)となりました。

通期業績は売上高38,521百万円、営業利益4,488百万円を計画しています。売上高は増収となる一方、SMOおよびCSO関連事業への先行投資による減益が見込まれますが、これらの投資を来期の成長につなげていきます。

Q2 国内事業の方針と施策を聞かせてください。

国内事業ではCROおよびSMO・CSOの各事業を展開しています。国内CRO事業は、一層の効率化に取り組み、専門性の高い、ソリューション提案型CROに進化します。国内SMO事業は、体制を強化し、提案営業の推

進と受注力の向上により事業拡大とともに、外部との業務提携を推進し、営業力の強化を図ります。国内CSO事業は、顧客からのコスト低減ニーズに応じて高まる需要を確実に取り込むために、事業を担うグループ会社2社を2013年10月に合併し、規模拡大と機能強化を図ります。

Q3

海外事業の方針と施策を聞かせてください。

海外事業ではGlobal Research 事業と中国事業を展開しています。Global Research事業はさらなる体制強化に向けて、当社内カンパニーを2013年7月に分社化します。これにより、海外におけるCRO・SMO業務の統括機能を強化するとともに、顧客の多様なニーズへの対応を図ります。中国事業は、同じく2013年7月に当社中国事業本部を分社化予定です。益新(中国)有限公司グループとの連携を強化して、既存事業強化と新規事業獲得に対応する体制を構築します。

これら諸施策によって価値あるソリューションを創出し、グループとして医薬品開発におけるワンストップソリューションの充実を目指します。

事業再編についての概要

国内

山梨に新会社とサテライトオフィスを設立

■株式会社イーピーエス山梨

代表者…………… 代表取締役社長 村上一徳
資本金…………… 1,000万円
出資比率…………… イーピーエス株式会社 90%、有限会社シンク情報システム 10%
設立年月…………… 2013年4月
事業内容…………… 医薬品・医療機器における臨床試験のデータマネジメント業務全般
医薬品・医療機器における臨床試験の統計解析業務
業務開始…………… 2013年7月1日(予定)

CSO関連子会社を合併

合併期日…………… 2013年10月1日(予定)
合併方式…………… ファーマネットワークを存続会社とする吸収合併方式
合併後の商号… EPメディネット株式会社(仮称)
主な役員…………… 取締役会長 田代伸郎
代表取締役社長 西塚淳一
その他…………… 合併比率、新会社の資本金等は未定

海外

各事業を分社化し、体制を強化

■EPS インターナショナル株式会社(仮称)

主な役員…………… 取締役会長 巖 浩
代表取締役社長 Dan Weng
事業内容…………… 海外CRO、SMOおよび関連するIT事業
出資比率…………… イーピーエス株式会社 100%
資本金…………… 未定
設立年月日…………… 2013年7月1日(予定)

■益新株式会社(仮称)

代表者…………… 代表取締役社長 巖 浩
事業内容…………… 中国事業の統括・推進・管理、日本国内での営業推進
出資比率…………… イーピーエス株式会社 100%
資本金…………… 未定
設立年月日…………… 2013年7月1日(予定)